

錦江町の豊かな食をPR

各地で特産品販売実施



開店直後から大繁盛（鹿児島市山形屋）

錦江町の食をPRするため、各地で特産品販売が行われました。

2月11日は、福岡市のマリノアシティ内にある「九州のムラ市場」において、商品名やパッケージなどをリニューアルした、けせんだんご、味噌漬け、かつお味噌などのテスト販売を行いました。当日は、加工グループやうんめもん会のメンバーが消費者に試食を行ってもらい、加工品に関するアンケートを実施したほか、PR活動を行いました。

2月18日、19日には、薩摩・大隅両半島1市3町による「半島隅くじら元氣市」が鹿児島市の山形屋イベントショップで開催されました。

元氣市は、半島の豊かな自然や特色ある文化の紹介、特産品の販売を行うもので、今回で7回目を迎えます。

本町から出品した野菜類、お茶、花、加工品等を求めて、開

店前から多くの人が集まり、1日目で野菜類はほとんど売り切れ、他の品物も2日目で完売となりました。

両販売会を実施したことにより、都市部の消費者に対し、錦江町の安心・安全で豊かな食をPRすることができたほか、消費者の声を直接聞くことができ、今度の生産活動のための貴重な体験となりました。

また、町内では、2月12日に神川新鮮野菜市三周年感謝祭が行われました。

当日は、数多くの新鮮な野菜や花、加工品が準備され、会場内は多くの買い物客でにぎわったほか、無料配布されたせんざいやもち、大根なども大変好評でした。



福岡市「九州のムラ市場」での販売の様子